

第39回広島県文化団体連合会文化講演会 呉市文化団体連合会70周年記念事業

能樂



～今に伝えるその心～

令和元年

11月2日(土)

開演
13時30分（開場13時00分）

終演予定15時30分

〒737-0051 広島県吳市中央3丁目10-1
0823-25-7878

金庫ホール (呉市文化ホール)

呉信用金庫ホール

能・船弁慶

90
分

すつぱ…茂山あきら
田舎者…松本薰

狂言・仏師

25
分

解説・大島輝久

シテ…大島衣惠
子方…大島伊織
ワキ…有松遼一
間狂言…松本薰

笛 相原一彦

笛 … 相原一彦
小鼓 … 横山幸彦
狩野了一
金子敬一郎
大島輝久 他

入場料 指定席 3,500円 自由席 2,500円

〈チケット取り扱い〉
8月1日より販売開始 岐信用金庫ホール(岐市文化ホール) ☎0823-25-7878

お問合せ 瑞市文化団体連合会事務局 ☎0823-25-3462

あらすじ

狂言 仏師

持仏堂を建立した田舎者が、安置する仏像を買い求めようと都へ行きます。仏師を探し求めているところへ、あらわれた都のすつば（詐欺師）が仏師であると嘘をつけ、仏像は翌日までにできあがるといふ。田舎者が翌日たずねると、仏像はできあがっていたのですが、仏像の印相がおかしいので直してもらおうと仏師を呼びます。するとあわててすつばがあらわれて…

能 船弁慶

前場…源義経は平家追討の武勇を打ち立てますが、戦いが終わるとかえつて兄源頼朝に疑われ弁慶を伴い西国に落ちゆきます。最愛の静御前との悲しい別れ、酒宴の席で静御前は美しい舞を舞います。

後場…一転して船出、そして平知盛の怨霊との激しい戦い。ワキの弁慶は、前後の時間経過を劇的につなぐ重要な役。間狂言の船頭は荒波にもまれる船を必死で操る見せ場もあり、前場と後場のコントラストが素晴らしい現行曲屈指の人気曲です。

能楽師 狂言方大蔵流
茂山 あきら

国総合認定重要無形文化財
1952年京都生まれ
3歳の時 狂言「以呂波」のシテにて初舞台以来、「三番三」「釣狐」「花子」を披く。1976年、花形狂言会を発足。従兄弟の正義(現 千作)、真吾(現 七五三)と主宰する。古典狂言のみならず、小松左京作SF狂言「狐と宇宙人」他、「木童うるし」(1978)「死神」(1981)等の新作狂言や千年振りの復曲「袈裟求」など演じ、狂言の大衆化に力を注いだ。多才な演劇人である父・千之丞の影響を受けテレビ、ラジオ、新劇、実験劇に参加。またアメリカ人ジョナ・サルズと共に「NOHO(能法)劇団」を主宰。ペケット・イエイツの不条理演劇、英語狂言など海外公演を行う。千五郎・七五三と共に、桂米朝一門を巻込み『お米とお豆腐』を立ち上げるなど、新たな試みに挑戦中。その他演出家としても関西歌劇団・関西二期会等のオペラ、新劇、能法劇団、新作狂言、パフォーマンス、ファッショショナーの企画・構成・演出など手掛け「舞台マルチ人間」を目指している。著書に「京都の罠」(KKベストセラーズ)がある。



能楽シテ方喜多流職分
大島 政允

国総合認定重要無形文化財
喜多流大島能楽堂、大島家4代目当主。
1942年 広島生まれ。福山在住。
1958年 喜多宗家に入門、15世喜多実師に師事。「道成寺」「安宅」「石橋」「望月」など大曲を披く。福山喜多会・広島大島会・鳥取春秋会・松江喜多会を主宰。ヨーロッパ・アジア各国にて海外公演多数。1976年 東京から福山に拠点を移し、活動。2000年 台湾芸術学院客員教授に招聘され、アジア芸術祭に参加。2002年 新作能「鞆のむろの木」制作初演。2010年 広島県教育賞受賞。2012年 広島県地域文化功労賞受賞。2013年 中国文化賞受賞。2014年 法政大学催花賞受賞(喜多流大島能楽堂)。2015年 地域文化功労賞受賞(山陽新聞)。2016年 新作能「福山」制作初演。



能楽師 シテ方喜多流
大島 衣恵

1974年 喜多流大島家に生まれる。2才で「鞍馬天狗」の稚児役で初舞台を踏む。祖父久見、父政允(共にシテ方喜多流職分 国総合指定重要無形文化財)に師事。1997年 東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽囃子専攻卒業、1998年より 喜多流では初めての女性能楽師として舞台活動をおこなう。現在、喜多流大島能楽堂を拠点に、子ども達や初心者への能楽体験学習をはじめ、能の普及と啓蒙活動に努力している。広島エリザベト音楽大学等で非常勤講師。ヨーロッパ、アメリカ、アジアの各地での海外公演にも多数参加している。福山市在住。
2005年度「広島県民文化奨励賞」けんしん育英文化振興財団より受賞。2007年 広島県教育奨励賞受賞。2010年 広島国際文化財団より国際交流奨励賞受賞。2018年 ひろしま文化振興財団より広島文化賞受賞。



能楽師 狂言方大蔵流
松本 薫

国総合認定重要無形文化財
1951年広島生まれ。
1974年 立命館大学在学中に十二世茂山 千五郎(四世 千作)に入門。
23歳の時 狂言『瓜盗人』のアドで初舞台。以来1988年に『三番三』1993年に『釣狐』1996年に『花子』を披く。
海外公演にも多数参加している。
1984年には、同門の網谷正美、丸石やすしと共に「三笑会」を結成。27年間、年5回の「狂言三笑会」を開催し、2011年のファイナル公演まで131回数を重ねた。
京都市在住。
平成17年度京都府文化賞功労賞受賞



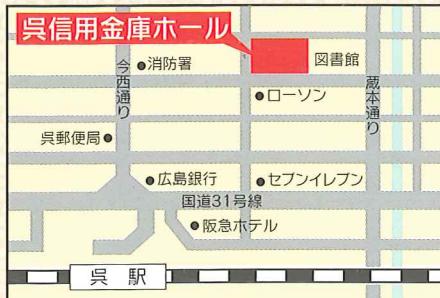
能楽師 シテ方喜多流職分
大島 輝久

1976年、福山生れ。東京在住。祖父久見、父政允(共に喜多流職分、国総合指定重要無形文化財)に師事。
3才、仕舞「猩々」で初舞台。1994年、喜多流内弟子入門、塩津哲生師に師事。2003年、「猩々乱」を披く。2010年、「道成寺」を披き、独立。「燐の会」メンバー、国内外にて活躍。能大島家5代目。



能楽師 ワキ方高安流
有松 遼一

1982年、東京都生まれ。京都市在住。
京都大学大学院文学研究科博士課程(国文学)研究指導認定退学。京都大学非常勤講師を経て、現在 同志社女子大学嘱託講師。
伝統音楽普及促進事業実行委員会幹事。
京都大学文学部に入学後、2007年に能楽師ワキ方・谷田宗二朗師に入門。
同年『西行桜』ワキツレで初舞台。谷田師逝去後、飯富雅介師に師事。大曲『猩々乱』『道成寺』などを披く。
京都を中心に国内外の舞台に出演。
大学の講義では能楽や和歌など古典の魅力を伝え、能が現代に生きる芸能・舞台芸術であることを問い合わせ続ける。



会場のご案内 呉信用金庫ホール

〒737-0051 広島県呉市中央3丁目10番1号 ☎0823-25-7878

交 通 電車／JR呉駅から徒歩7分
バス／JR呉駅より

- 1.JR呉駅前バスのりば「9番」のりばから「辰川行き」で「中央3丁目」バス停下車 徒歩1分
- 2.JR呉駅前バスのりば「1番」のりばから「焼山熊野苗代線(市役所経由)」で「中央3丁目」バス停下車 徒歩1分
※JR呉駅発11:00~18:00の時間帯での運行となります。
- 3.JR呉駅前バスのりば「8番」のりばから「天応吉浦線(呉信用金庫ホール経由)東畑行き」で「中央3丁目」バス停下車

※会館には専用の駐車場がありません。周辺の有料駐車場か公共交通機関をご利用ください。